

小笠山を愛する協議会の活動紹介「小笠山の自然を護る」

小笠山を愛する協議会

副代表 瀧本 健

小笠山は掛川市と袋井市にまたがり、新幹線の掛川駅にも近い 265m の低山ですが、豊かな自然があり、130 種の野鳥と 1300 種の植物が確認されています。地形的にも珍しいケスタ地形があり、六枚屏風という固結した礫岩の浸食谷があり、また徳川家康が高天神城を攻める際に本陣を置いた砦跡もあり、多くのハイカーに愛されていますが、砂利採取のために森林が伐採されつつあります。小笠山を愛する協議会（OAK）では、公募ハイキングを開催したり登山道を整備したりして小笠山の自然に親しみ保全する活動を行っています。

§ 1. 小笠山とは

(1) 小笠山の地形と生い立ち

かつては大井川河口の海の底にあり、掛川礫層群の上に小笠礫層が堆積して、小笠山と牧之原台地が隆起したことで数多くの崖が出来ました。崖は山の北東側に多く、南西側はなだらかな「ケスタ」地形が形成されました。

(2) 小笠山の歴史（小笠山砦）

(3) 小笠山の自然

小笠山は低山ながら変化に富み、自然が豊かで多くの動植物を育む所で、植物は 1300 種（シダ 176 種）、尾根には海岸性のウバメガシと山地性のアカガシの林が併存しているのは珍しく、特にシダ類に貴重種が多くみられます。照葉樹林などの森が広がり、ため池も点在する環境で 98 種の野鳥が繁殖または越冬しています。

(4) 小笠山のハイキングコース

§ 2. 小笠山を愛する協議会（OAK）の活動の紹介

(1) 会の歴史と現況

(2) 主な活動内容

§ 3. 小笠山の自然保護の課題

(1) 風力発電

小笠山の南に風力発電の計画が提案されており、風力発電の事業中止を求めて掛川市に働きかけています。2024 年 7 月、小笠山を愛する協議会と日本野鳥の会遠江支部連名で、掛川市長に建設反対の要望書を提出しました。

①希少野生動植物種の保全措置が不十分

②搬入道路新設による自然林の破壊

③小笠山の景観に悪影響を与える

④絶滅危惧種のサンコウチョウの繁殖環境の悪化とバードストライクの懸念

(2) 砂利開発

小笠山の東面で大規模な砂利採取工事が行われており、森林が伐採され自然が破壊されています。これ以上、開発範囲を広げないよう、市民への啓発と併行して、2023 年 12 月に掛川市長へ、2024 年 7 月に静岡県（自然保護課）へ要望書を提出しました。

併せて、六枚屏風を天然記念物に指定する要望も行っています。

小笠山の自然を愛し、楽しむとともに、これを護って遺していく活動を続けていきますので、ご支援ご協力をお願いします。